

第2回近畿地区新専門医交流会の開催報告

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学 中村 健

平成26年11月1日（土）、大阪医科大学において第2回近畿地区新専門医交流会を日本リハビリテーション医学会専門医会と近畿地方会の共催で開催いたしました。この新専門医交流会は、昨年度、第1回を開催し好評であった事もあり、本年度も第2回として開催させて頂きました。基本的には、昨年度と同様に演題を募集し演題発表会と懇親会の形式で行いました。近畿地区では、平成26年度に21名の新専門医が誕生しており、平成25年度と24年度の新専門医と合わせて55名を対象に参加を呼びかけ、16名の新専門医の先生方の参加があり、5演題の発表がありました。また、近畿地方会から8名の幹事の先生方にも参加頂きました。

演題発表会では、京都大学医学研究科附属脳機能総合研究中心の小金丸聰子先生より「非侵襲的脳リズム刺激と歩行」、神戸大学大学院医学研究科リハビリテーション機能回復学分野の酒井良忠先生より「神戸大学リハビリテーション科の紹介」、吉野脳神経外科クリニックの島田憲二先生より「近況の御報告」、和歌山県立医科大学リハビリテーション医学の荒川英樹先生より「海外留学体験記」、大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室の富岡正雄先生より「災害時のリハ介入のシステム作りについて-南海トラフ巨大地震を控えて-」という演題名で発表が行われました。日頃の研究や施設での取り組み、留学体験、災害リハでの活動など様々な方面での新専門医の先生方の

ご活躍を発表頂き、和やかな雰囲気のもと質問や意見交換が行われました。本年度も昨年同様、日頃の診療の苦労話などもあり、交流会ならではという演題発表会となりました。

懇親会は大阪医科大学の地下食堂で行い、初めに近畿地方会幹事ならびに日本リハビリテーション医学会理事あります久保俊一先生に乾杯の挨拶を頂きました。懇親会では、各新専門医の先生方の自己紹介や各近畿地方会幹事の先生方より新専門医に向けた激励の言葉などがあり、参加者間の懇親を深めることができました。最後に、参加者全員による記念撮影を行い、近畿地方会代表幹事の佐浦隆一先生より閉会の挨拶を頂き交流会を終了いたしました。

本年度の交流会も昨年度同様、和やかな雰囲気のもと交流が行われ有意義な会であったとの意見が多く聞かれました。また、昨年度は専門医取得後2年目までの先生方を対象にしたところ参加者が少なかったとの意見もあったため、本年度は専門医取得後3年目までの先生方を対象としました。このため、昨年度は9名であった参加者が、本年度は16名となりました。今後多くの新専門医の先生方に参加して頂け、交流を広げていける交流会を開催していきたいと考えております。最後に、新専門医交流会に参加して頂いた新専門医、近畿地方会幹事の先生方に深く感謝いたします。

